

宿オリ 大縄跳び 優勝は2組



声を合わせて跳ぶ生徒

宿泊オリエンテーション二日目の午後、長浜ドームにてクラス対抗大縄跳びが行われた。各クラス一丸となり全力で臨んだ。

会場となった長浜ドームへは徒歩で移動した。各クラス2チームに分かれ、最高回数の合計を競った。本番の前には、10分程度の練習が行われた。初めてクラスを2つのチームに分けたの

で戸惑う生徒もいたが、HR委員長がチームをまとめ、積極的に声を出し、クラスが一丸となり本番に臨んだ。

また、円陣を組むクラスもあり、入学して2週間とは思えないほどの団結力も発揮していた。失敗をしても声を掛け合い何度も挑戦する姿に、見ているクラスからも声援が送られた。結果は、2組が41回、1組が40回と僅差で2組が優勝した。3位は8組で31回となった。

団結力を学園祭でも

優勝の2組

大縄跳びの後、優勝した2組の生徒に話を聞く。と、初めてクラスが一丸となって取り組む機会となり、そこで優勝できてとても嬉しい。この調子で体育祭や文化祭でもクラスの団結力を発揮したい」と話してくれた。

ドームに響く 生徒の声

クラス対抗大縄跳びの前には、体育科で行っている集団行動の復習などが行われた。

普段は、2～3クラスでの授業だが今井先生の掛け声で一学年321人が、一斉に移動や整列を行った。いつもとは違う雰囲気戸惑う生徒も見られたが、自分で考え、各自が声を出し、動きを合わせようとしていた。

起立をするときなども声を出し、細かい動きを合わせていたため、「気をつけ」の姿勢になった際には全員が一斉に体操服のズボンを叩く音がドーム中に響いた。

普段の学校生活では見られない、統率された動きを見せていた生徒に驚く先生もいた。



賞状を受け取る2組HR委員長